

楽しみながら学べる体験型交通安全啓発イベント 「交通安全。アクション 2023 新宿」

43の団体・企業などが参画し、4月8日（土）、9日（日）に開催
2日間で4,600人が来場

日本自動車会議所は4月8日（土）、9日（日）の両日、東京・新宿区の「新宿駅西口広場イベントコーナー」で、交通安全の大切さやルールを楽しく学べる体験型交通安全啓発イベント「交通安全。アクション 2023 新宿」（以下、「アクション 2023」）を開催しました。「交通安全。アクション」の開催は2021年12月以来1年4カ月ぶりで、春の開催は新型コロナウイルス感染拡大前の2019年4月以来4年ぶりです。

初日8日のオープニングセレモニーで挨拶に立った当会議所の山岡正博専務理事は、「自動車業界は100年に一度の大変革期の真っ只中でカーボンニュートラル実現やクルマの電動化に取り組んでいます。『交通死亡事故ゼロ』という究極の目標に向けても業界全体で取り組んでいます。ようやく、このような啓発イベントを実施できる機会ができましたので、是非とも成功させましょう」と呼び掛けてイベントがスタートしました。「アクション 2023」は新型コロナウイルス感染症対策に十分に留意しながら開催され、2日間で約4,600人が来場し、趣向を凝らしたブースプログラムなどを体験しました。

「アクション 2023」は警視庁新宿警察署との共催で、内閣府、国土交通省、警察庁、警視庁交通部、東京都が後援し、当会議所の会員団体をはじめ、開催の趣旨に賛同する43の団体・企業などが参画して開催されました。「高齢者・幼児／児童を重点対象とし体験を通じて交通社会のルールや安全行動の大切さを啓発する」をテーマとし、交通安全の大切さやルールを楽しく学べる12の体験型ブースプログラムを用意。ステージプログラムでは、警視庁音楽隊ミニコンサートや、警視庁のマスコットキャラクターのピーポくんファミリーも出演した交通安全教室や撮影会などにたくさんの家族連れが参加しました。交通安全グッズなどがプレゼントされるスタンプラリーも実施し、小さな子どもから高齢者まで多くの来場者が「アクション 2023」を楽しみました。

日本自動車会議所は、今後もこのようなイベントの開催を通じて、交通安全に寄与してまいります。



ピーポくんファミリー、てんけんくん、ナスバちゃんなども登場した
オープニングセレモニー